

『医療の質と活動の実態調査・改善事業について』

当院では、より質の高い医療・公衆衛生の向上のため、私達が行っている医療の内容を客観的に評価しながら、さらに改善させてゆくことが大事だと考えております。

そこで、当院では研究機関と協力して、お受けになった入院および外来診療に関するデータを完全に匿名化した状態で収集して客観的に分析し、医療や施設運営の質を一層向上させることをめざしております。

研究参加と既存情報の提供についての公開情報

①（試料・情報の利用目的及び利用方法、他の機関へ提供方法）：

匿名化された診療報酬データ（DPC データ）等を、医療の質と活動の実態調査を行い公衆衛生の向上に寄与することを目的に、暗号化通信による電子的送付あるいは追跡可能な宅配等により提供する

②（利用し、又は提供する試料・情報の項目）

厚生労働省により規定され作成された DPC データ（年齢・性別、病名、手術・処置・薬剤等の種類、外来受診回数、入院期間、医療費など）

③（利用する者の範囲）：

I. 「医療の質と経済性に関する実態調査」を実施する研究者

研究責任者：京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授 今中雄一

研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください

<http://med-econ.umin.ac.jp/disc/>

II. 「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究」を実施する研究者

研究責任者：国立がん研究センター 東尚弘

研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください

http://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/list/2013-081.pdf

III. 「レセプトおよび DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する研究」を実施する研究者

研究責任者：一般社団法人日本循環器学会

IT/Database 部会 部会長 的場聖明

研究実施体制は研究責任者によるホームページをご参照ください

https://www.j-circ.or.jp/jittai_chosa/about/summary/

IV.「レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療疫学調査」を実施する研究者及び「脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究」を実施する研究者

研究責任者：国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

研究実施体制は研究責任者によるホームページの「患者さん向け資料」をご参照ください

<https://j-aspect.jp/discharge.php>

<https://j-aspect.jp/ctgs.php>

V.「院内がん登録を活用した胸膜プラークをもつ肺がん患者の実態調査」を実施する研究者

研究責任者：国立研究開発法人国立がん研究センター 東尚弘

研究に関しては、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターにお問い合わせください。

VI.「愛媛県のがん情報を活用するための院内がん登録を中心とした愛媛県がん情報を集約したデータベースの構築と活用に関する研究（愛媛県がん情報データベース計画）」

を実施する研究者

研究責任者：四国がんセンター 寺本典弘

研究に関しては、四国がんセンターにお問い合わせください。

VII.「がん診療の諸要因と予後の関連に関する研究」

を実施する研究者

研究責任者：国立研究開発法人国立がん研究センター 東尚弘

研究に関しては、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターにお問い合わせください。

④（試料・情報の管理について責任者）：

I. 愛媛県立中央病院 QI 管理部会長 名和由一郎

II. 愛媛県立中央病院 診療情報病歴室長 古手川洋志

III. 愛媛県立中央病院 副院長 岡山英樹

IV. 愛媛県立中央病院 脳神経外科 主任部長 岩田真治

V. 愛媛県立中央病院 診療情報病歴室長 古手川洋志

VI. 愛媛県立中央病院 医療情報部長 椿雅光

VII. 愛媛県立中央病院 診療情報病歴室長 古手川洋志

本件にご質問・ご意見がございます場合には、担当（内 5713）までお問い合わせください。